様式第65の３（第50条関係）

証　拠　説　明　書

（令和　　年　　月　　日）

特許庁審判長　　殿

１　審判の番号

２　請求人（被請求人、参加人）

住所（居所）

（電話番号）

氏名（名称）

３　代理人

住所（居所）

（電話番号）

氏名（名称）

４　証拠の説明

５　添付書類又は添付物件の目録

〔備考〕

１　「証拠の説明」の欄には、「号証」、「標目」、「証拠方法の種類」、「原本・写しの別」、「作成年月日」、「作成者」、「立証の趣旨」の項目を設け、表等の形式を用いて記載する。「号証」の項目には、審判事件においてその文書又は電磁的記録に付された符号及び番号を記載する。ただし、証拠方法が電磁的記録である場合には、原本・写しの別を記載するには及ばない。

２　その他は、様式第３の備考１から３まで、７から11まで及び14から16まで、様式第５の備考３、様式第57の備考２、様式第61の備考３並びに様式第64の２の備考１と同様とする。この場合において、様式第５の備考３中「添付書類の目録」とあるのは「添付書類又は添付物件の目録」と読み替えるものとする。